

GROUND PAPER FOR DISPLAYING ARTICLE

Patent Number: JP10080345
Publication date: 1998-03-31
Inventor(s): UMEZAWA NAOYUKI; SATO MASAYUKI
Applicant(s): LION CORP
Requested Patent: ☐ JP10080345
Application Number: JP19960255325 19960906
Priority Number(s):
IPC Classification: A47F7/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To safely display an envelope-shaped or center joined seal-shaped packed article using a paste calendered ground paper at the shop.
SOLUTION: In a ground paper 1, in which a large number of envelope-shaped or center joined seal-shaped article pack bags A, each of which stores products therein, are arranged in longitudinal and or lateral directions in an overlapping or spaced apart relationship, and a large number of pasting holes 2 are formed in the ground paper 1 in the longitudinal and/or lateral directions thereof so as to be spaced one from the other and the holes 2 consist of pairs of holes 2 and in each pair of holes, the holes 2 are oppositely oriented one to the other on both sides of a connection piece 4, and the adhesive layer surface of an adhesive tape 3 is disposed at each of the holes 2 separated by the piece 4, whereby article pack bags each comprising a center joined seal-shaped pack bag are provided. And when packed articles are displayed using a calendered ground paper, the packed articles can be safely separated without damage to the sealed portions thereof even if strong adhesion is applied to the packed articles, so that the packed articles can be easily handled.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-80345

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月31日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 7 F 7/00

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 7 F 7/00

技術表示箇所

E

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平8-255325

(22) 出願日

平成8年(1996) 9月6日

(71) 出願人 000006769

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(72) 発明者 梅沢 尚之

東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン株式会社内

(72) 発明者 佐藤 正幸

東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン株式会社内

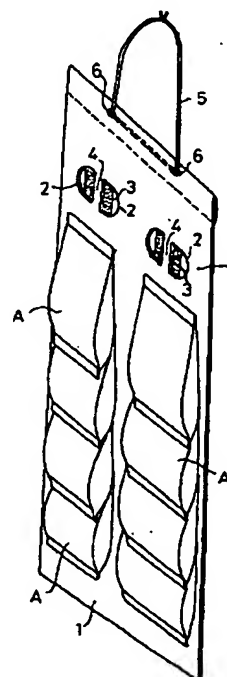
(74) 代理人 弁理士 薬師 稔 (外1名)

(54) 【発明の名称】 物品陳列用台紙

(57) 【要約】

【課題】 封筒形或いは中央合掌シール形包装物品を貼付カレンダー台紙での店頭陳列展示を安全に行う。

【解決手段】 封筒シール形或いは中央合掌シール形のバック袋に製品を入れた物品バック袋Aを縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙1であって、該台紙1に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて多数形成した貼付穴2が中央部に繋ぎ片4を介在して対向する一対の穴で構成され、この中央部の繋ぎ片4で分離された両貼付穴2に貼着テープ3の粘着層面3、を配備したことで中央合掌シール形の包装袋を用いた物品バック袋、その他包装物品を貼付カレンダー台紙で陳列展示販売の際に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができ包装物品の脱落もなく取扱い簡便である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 物品バック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着層面をそれぞれ配備したことを特徴とする物品陳列用台紙。

【請求項2】 前記物品バック袋が、封筒形シール袋或いは中央合掌シール形袋である請求項1記載の物品陳列用台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、食品、雑貨品、化粧品、その他商品を袋詰めした包装物品或いはバック製品、特に封筒形シール袋や中央合掌シール形袋を用いた物品バック袋を陳列若しくは展示して店頭販売する際に用いられるバックホルダー用の商品陳列カレンダー台紙に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の物品陳列用台紙では、種々の方式があるが、商品の包装が破れないで取り外しやすい形態として粘着テープを用いて、この粘着テープに貼り付けて用いる方式が、店頭陳列用として食品、雑貨品全般に多用されているが、このタイプでは、台紙に多数形成した貼付穴に粘着層を露呈して貼着テープを台紙裏面に貼着配備したものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、この貼付タイプでは、殆どが軽量商品のバック袋が主で問題はないが、比較的重量のある商品では粘着力の関係で物品バック袋が落下してしまうので、脱落しないようにするためには強粘着タイプテープを使用することが多い。この強粘着テープを用いた場合、包装袋が封筒シール形或いは中央合掌シール形を用いることが多い物品バック袋では、この裏面側にあるシール部分が強粘着テープに貼付けられているために店頭で物品バック袋を取り外す時に、合掌貼りシール部分またはその周辺が破れることが多発して取扱上問題があった。殊に食品など液状商品または液や粉或いは粒状物を含む商品では二重袋にした

30

40

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、封筒シール形或いは中央合掌シール形の物品バック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着層面をそれぞれ配備したものである。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の実施形態では、物品陳列用台紙に縦方向および横方向に多数形成した貼付穴に粘着層面を露呈して貼着テープを台紙裏面に貼着配備したもので、該貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴で構成されているので、封筒シール形或いは中央合掌シール形の袋に商品を入れた物品バック袋を貼付穴に貼付けると、該物品バック袋の裏面にある合掌貼りシール部分が粘着層面のない繋ぎ片上に位置して貼付けられることとなり物品バック袋を台紙から引き剥がして取る時にシール部分またはその周辺が破れることなく安全に物品バック袋を外すことができ、強力粘着テープを使用して物品バック袋の脱落防止も確実に行うことができる。

【0006】

【実施例】本発明の実施例を図1乃至図4の例で説明すると、封筒シール形或いは中央合掌シール形のバック袋に製品を入れた物品バック袋Aを縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙1であって、該台紙1に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて多数形成した貼付穴2が中央部に繋ぎ片4を介在して対向する一対の穴で構成され、この中央部の繋ぎ片4で分離された両貼付穴2に貼着テープ3の粘着層面3、を配備した物品陳列用台紙としてある。

【0007】この場合、前記台紙1は厚紙或いはプラスチックボード等を用い、上端を曲折げ折り返して二重にして吊り下げ紐5の取付け用の挿通穴6或いは鳩目を設けるか、連結片を設けるかして物品バック袋Aの店頭での陳列展示しやすいようにしてあり、台紙1の表面に適宜広告、印刷模様などの表示（図示せず）を施して用いられる。さらに、前記貼付穴2としては、繋ぎ片4を介して半円形穴を対向させてあるが、楕円形穴、角形穴、長い連続した長方形穴その他の形状の貫通穴を選んで設け、物品バック袋Aの貼り付けに支障がない形状、大きさにしてある。

【0008】なお、前記貼着テープ3は、強力粘着層を片面に備えて台紙1の裏面で多数ある対向した前記貼付穴2、2に跨がって接着し、各貼付穴2内に粘着層面3、が露呈されていて物品バック袋Aの接着保持が確実にできるようにしてあり、かつ一対の貼付穴2、2を台紙

けて多数設けてあって、物品バック袋Aの位置に少しずつ変えて重なりをずらせて陳列、展示し、取り外ししやすいようにすることが考慮されている。また台紙1の大きさによって物品バック袋を横方向にも一列或いは二列以上配列できるように貼付穴2を設ければよい。

【0009】また、貼着テープ3は、前記貼付穴2に対して全体に貼り付けてもよいが、図示例の如く両端に隙間をあけて貼り付け、粘着テープのテープ端が貼付穴2の厚み方向に対して若干ゆるみがあって、穴内に押し込まれはいり込んだ形態として台紙1上にある物品バック袋Aとの接着性を良くするようにするのがよい。(図3)そして、多数ある貼付穴2に対して連続した貼着テープ3を台紙1が縦長のものであれば縦方向に、また横長のものでは横方向に台紙裏面に接着すればよく貼付穴2内での露呈面積も物品バック袋Aの重量に対応して適宜選べばよい。

【0010】図5の具体例では、物品バック袋Aの貼付穴2で貼着する台紙1上の個所を2ヶ所以上にしたもので、中央合掌シール形袋の物品バック袋Aの裏面シール部にかからない位置、例えば物品バック袋Aの四隅に対応する位置に貼付穴2を設けて貼着しやすくし各貼付穴2、2間が繋ぎ片4となって貼り付けを剥がす際に、中央合掌シール形袋の裏面シール部が縦方向に破れないようにすると共に、物品バック袋Aの脱落防止に役立てたものである。この場合、前記物品バック袋Aは隣設されるものと離して配列してもよいが、上下の貼付穴2の両方を使わずに、図1例の如く上下分かれて用いた重ね合せ貼付方式としてもよい。

【0011】

【発明の効果】本発明は、物品バック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列*

*貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着層面をそれぞれ配備したことにより、封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いた物品バック袋、その他包装物品を貼付台紙で陳列展示販売の際に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができ包装物品の脱落もなく取扱い簡便で、しかも物品バック袋の保管並びに輸送にも便利であり、カレンダー台紙として簡単に製造でき大量生産に適し安価な形態とすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の一使用状態の斜視図である。

【図2】図1の例の台紙を示し、(a)は正面図、(b)はB-B線における縦断面図、(c)はC-C線における縦断面図である。

【図3】図2のA-A線における拡大縦断面図である。

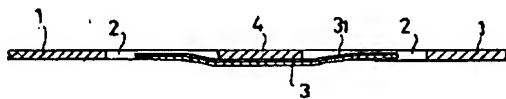
【図4】図2の例の使用状態の一部の正面図である。

【図5】本発明の他の実施例の使用状態の一部の正面図である。

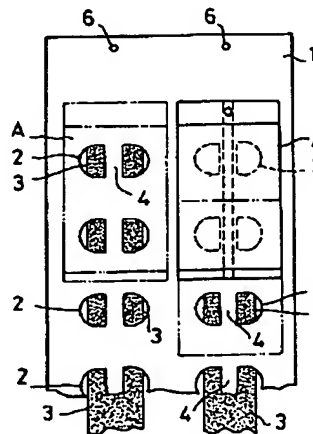
【符号の説明】

- | | |
|----------------|-------|
| A | 包装物品 |
| 1 | 台紙 |
| 2 | 貼付穴 |
| 3 | 貼付テープ |
| 3 ₁ | 粘着層面 |
| 4 | 繋ぎ片 |
| 5 | 吊り下げ紐 |
| 6 | 通し穴 |

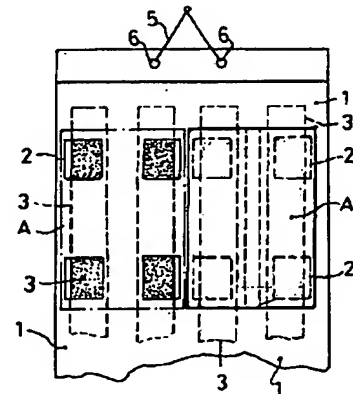
【図3】



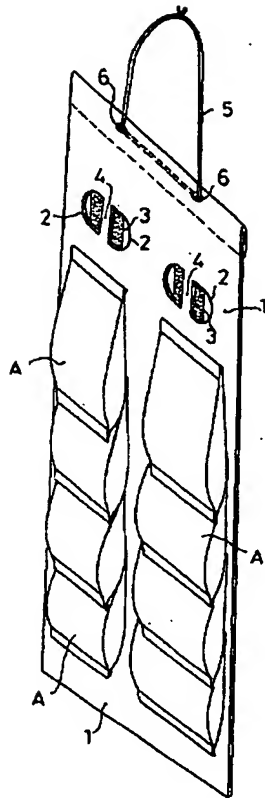
【図4】



【図5】



【図1】



【図2】

